

晃華学園中学校高等学校

Banana to The Futures

バナナペーパー

現在、バナナペーパーの普及・啓発を中心に活動しています。具体的には、文化祭でブースを出したり、企業と連携したバナナペーパーを題材とするSDGs教材の作成をしたり、講演会を企画・運営したりしています。日常生活で紙を使う場面は数多くあります。バナナペーパーの存在を知ってもらい、選択肢の一つに考えてもらえるようにしていきたいです。



新潟県立加茂農林高等学校

生命情報コース 環境班

ホタルが舞う故郷を目指して

大皆川には、毎年ホタルが飛びます。その数は年々減少しています。そこで、「ひとづくり」として、ホタルについての学習や河川の調査研究。「ものづくり」として、地域資源を活用した河川環境の整備と地域連携。「ことづくり」として、6次産業化の研究と商品開発による地域マネジメントを学習しました。今年度は、小学生対象の鑑賞会も開催しました。



加藤学園高等学校

化学部

CODとBODを比較した化学的視点からの環境問題解決に向けて

環境保護が促進されている今、河川の汚濁の原因である有機物の正体を調べるためにCODとBODの値を用いて、その試料水が畜産系農業排水(人ではないものによる汚濁の原因)であるのか、工業系排水(人による汚濁の原因)であるのかを調査しました。また、どの試料水のときにどの接触材が適しているかを調査し、地域河川の浄化活動を行っていくことも考えています。



富士宮高校会議所

富士宮高校会議所

SDGs実践マスマス元肥(げんぴ)を使って、富士宮をマスマス元気に！！

富士宮市のニジマス養殖量は日本一である。ニジマスの残渣処理について調べたところ産廃処理していることがわかった。そこで、同じく地元の特産である朝霧牛の糞尿とコラボして堆肥化できないか検討し成功した。さらにこの堆肥が有効な農産物を二次加工してスイーツ等の製造を行い、ビジネスとしての成立させることが低炭素社会、持続可能な社会作りには不可欠と考え実践した。



学校法人静岡理工科大学 星陵高等学校

星陵ラボ・バイオメタン班

バイオメタンのある暮らし

環境問題の解決策の一つとしてバイオメタンによる発電を考えました。バイオメタンは、生ごみや家畜の糞尿などを微生物の働きで発酵させることによって発生するガスです。育てた作物を調理した時に出る生ごみはまた発電に使うことができます。私達は本校に設置された小規模のバイオメタン施設を使って、地域に分散して配置するシステムの普及を目指しています。



静岡県立三島北高等学校

アクアパツァ

金魚×水耕栽培

魚の飼育と植物の栽培を組み合わせることで共に効率化を図るための実験を行った。(1)四種類の植物で、様々な条件下で植物の種類による成育の違いを調べる。(2)植物の種類を統一し、光の有無、魚の有無を変えた。(3)(2)の考察・水質調査。研究全体の結論として、水中に光を当てて藻を発生させ魚を飼育することで水耕栽培を効率化することが出来る。



オイスカ高等学校

環境SDGsプロジェクト

浜と松プロジェクト ～災害に強い美しい海岸へ～

砂丘浸食問題の啓発も込めて、継続的にクリーン運動や浸食問題、生態系、防潮堤工事と広く中田島砂丘に関わる問題調査に取り組んでいます。今年、活動を楽しみ広げやすくするためにスポーツ形式を導入しました。市木「松」の松枯れ問題にも注視し、松くい虫に強いクロマツの生育研究や育苗を行っています。防潮堤や防風林への植栽後も生育調査・管理を行っています。



静岡県立浜松城北工業高等学校

環境部

「地球にやさしいエンジニア」を目指し共感の輪を広げる私たちの環境活動！

活動目標は、自然や環境に配慮した「ものづくり」と「環境ボランティア活動」を中心に、「地球にやさしいエンジニア」として成長し、友人、家族、地域の人々に「共感の輪」を広げることです。活動としては、地域の自然を守る環境ボランティア活動、防潮堤での森づくり、ジュニアエコクラブ、ISO14001・内部監査員への挑戦、STOP温暖化若者会議の開催等があります。

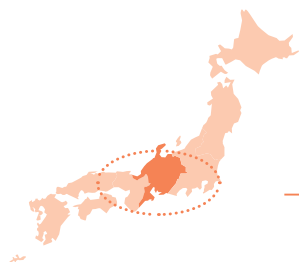


長野県木曾青峰高等学校

里山部

青峰里山プロジェクト

農業や林業の担い手不足による里山の荒廃化という課題に注目し、遊休農地や周囲の山林の整備に挑戦しています。今年は、遊休農地を活用し木曾地域の自然を体験できる「青峰里山パーク」を整備しました。さらに、自然の豊かさと里山の魅力を子ども達に伝えたいと考え、地元保育園や小学校に向け、「青峰森りんびっく」や「青峰里山講座」を実施し交流を広げています。



中部
7団体